

日本物理学会領域 2 役員会議 議事録案

日時: 2020 年 9 月 8 日(火)18:00 - 20:10

ZOOM

司会: 領域 2 代表 金子、福田、藤田、稲垣、相羽、大舘、小林、佐野、佐々木、高橋、山田、本島、白石、沼田、書記: 森

事前配布資料: 日本物理学会領域 2 運営会議(領域 2 運営会議-オンライン (熊本大学) 200909_v3.pdf)

報告・議論事項

- 1) 2020 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2021 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦
- 3) 第 75 回(2020 年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
- 5) 第 76 回(2021 年)年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) PlasmaML のルールについて
- 8) 講演件数の推移
- 9) 2021 年秋季大会の AAPPS-DPP 2021 との共催の可能性について
- 10) その他

報告・議事内容

- 1) 2020 年 10 月からの役員体制・役割分担

下記体制を承認した。

領域代表 金子 俊郎 (東北大学)

領域副代表 稲垣 滋 (九州大学)

領域前代表 藤田 隆明 (名古屋大学)

運営委員(小林、佐野、沼田、本島、相羽、福田)、役員(佐々木、高橋、山田)

運営委員委嘱状が必要な際は、物理学会大東さんにメールする

(8/21 運営委員宛 メール)。

運営委員でない役員の委嘱状は、必要な際は、領域代表が個別に対応する。

2020 年 9 月任期終了(大舘、白石、森)

2021 年 10 月からの次期役員の推薦(担当: 佐々木、高橋、山田)

- 2) 2021年4月からの領域代表、副代表の推薦
次期領域代表 稲垣 滋 (九州大)
次期領域副代表 千徳 靖彦 (大阪大)
運営会議(9/9)での承認後に事務局に提出。運営会議での承認は、Zoom 反応+タブを活用する。
- 3) 第75回(2020年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告
現地開催中止に伴い、学生優秀発表賞の授賞は実施しなかったことを確認した。
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
領域2から、2名を上限として授賞候補者を推薦することができる。
領域2の推薦締め切り：2020年10月16日(金)
提出先：領域代表 金子(kaneko@tohoku.ac.jp)
積極的に候補者にお声がけし、立候補を促していく。
候補者3名以上の際は、若手賞審査委員会(取り纏め：稲垣)で審査する。
候補者2名以下の際は、領域代表、副代表で確認する。
- 5) 第76回(2021年)年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案
企画講演 (1件提案)
モレーヌ・アレシオ(大阪大) 運営会議で説明(森)

招待講演 (2件提案)
小川国大(核融合科学研) 運営会議で説明(提案者 森崎 or 金子)
清水昭博(核融合科学研) 運営会議で説明(稲垣)

シンポジウム2件
「宇宙線加速原理の導入による「光速」に迫るレーザーイオン加速への挑戦-電子の相対論からイオンの相対論へ-」 運営会議で説明(福田)
「プラズマを含む複合システムの創発現象 -全体は部分の和か?-」 運営会議で説明(稲垣)
運営会議(9/9)以降の新規提案については、MLで議論する。
- 6) 領域委員会報告
・2020年秋季大会シンポ等の企画・提案について
現地開催中止の招待講演の取り扱いについて議論。
領域2と他領域との異同：

領域 2 は申請見送り。一方、他領域は、前回進捗及び変更点を工夫することで採択、招待講演についても採択していた。

議論の結果、領域 2 としては、招待講演の重みを鑑み、その重複を避け、企画講演で進めることを確認。

・講演の英語対応について

学会より、招待講演、企画講演、シンポジウム等の英語での発表の検討の依頼。

議論：

一般講演は、日本人は基本的には日本語で進める方向でどうか。

招待講演、企画講演、シンポジウム等は英語を推奨し、最終判断は提案者に委ねる。

別途、英語セッションを設けてはどうか。

外国の方を招待講演として招待する際のセッションは英語で統一してはどうか。

スライドは原則英語を推奨してはどうか。

運営会議では、時間に配慮しつつ、広く意見を伺う。

時間超過の際は、意見交換の場を懇親会に引き継ぐ。

7) PlasmaML のルールについて

1. 添付ファイルについて

常識の範囲内で「1MB 以下の PDF は認める」

ウイルス、メールサーバー管理対応等について、運営会議で議論する。

2. 授賞報告について

積極的に ML を活用した報告を推奨する。

3. 不適切な内容のメールに対する対応について

今後は、役員会で判断し、領域代表の責任で履歴を削除できるようにする。

送信者に削除をリマインドする。

ML での削除リマインドは様子を見る。

8) 講演件数の推移

一般講演 125 件。

秋季大会としては、3 大会ぶりに 100 件を超えた。

引き続き、講演者数増加の対応策を検討していく。

9) 2021 年秋季大会の AAPPS-DPP 2021 との共催の可能性について

2020 年 3 月 31 日に、ML で前代表(藤田)より、プログラム編成の仕方が異なるため、共催を見送る考えを送信した。

その後、意見は出されなかった。役員会で、共催見送りを確認した。運営会議で議

論して最終的に決定する。

10) その他

10-1) 懇親会(オンライン)

運営会議終了後、オンライン(Remo、定員 50)で開催。

19:00-21:00

飲食は各自準備

10-2) 企画セッション

“5)第 76 回年次大会シンポジウム・招待講演等の提案”の後に追加し、
高エネルギー密度終了、新規応募なしを
運営会議で報告する。

10-3) 運営会議参加の周知

各セッション(B1,B2 会場)終了後、周知する。

以上